

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 21 日作成)

小委員会名	高流動コンクリート研究小委員会	主 査 名：鹿毛忠継 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (RC 工事運営委員会)	委員長名：早川光敬 主 査 名：橋高義典
設 置 期 間	2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>高流動コンクリートの材料・調合・製造・施工指針 (1997) の改定のために必要な最新の調査・研究に関する情報収集と JASS 5 や関連指針ならびにその他の技術基準類との調整を行い、指針改定を行う。</p> <p>初年度：</p> <p>(1) 高流動コンクリート等に関する最新の調査・研究に関する情報収集</p> <p>(2) フレッシュ性状に関する国内・海外の評価試験方法と基規準の調査</p> <p>(3) JASS 5、関連指針、その他技術基準類との調整を行う等、作業内容と改定の基本方針の検討</p> <p>(4) 2016 年度建築学会大会 (九州) において、会員から広く意見を徴集するために、研究協議会 (高流動コンクリートの活用に関する課題と展望—高流動指針の改定に向けて—) の実施</p> <p>2 年度：上記 (1)、(2)、(3) の継続</p> <p>3 年度：指針作成 (本文・解説の検討)</p> <p>4 年度：指針完成 (指針の刊行と講習会は、次年度を予定)</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：現在のところ、予定なし</p> <p>鹿毛忠継 (主査：国総研)、小泉信一 (幹事：BASF ジャパン)、梶田佳寛 (建築研究振興協会)、橋高義典 (幹事：首都大)、古川雄太 (東急建設)、鈴木澄江 (建材試)、寺西浩司 (名城大)、平野修也 (フローリック)、野口貴文 (東大)、依田和久 (鹿島建設)、陣内浩 (大成建設)、小島正朗 (竹中工務店)、中島忠大 (清水建設)、神代泰道 (大林組)、宮野和樹 (前田建設) 計 15 名</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>2018 年度より、以下の 2WG を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレッシュコンクリート評価法 WG (高流動コンクリートの要求性能を、施工条件を踏まえて明確化し、定量的な性能評価法の検討する) ・適用範囲拡大 WG (いわゆる中流動コンクリート (SF50cm 以下) の材料・調合および性能に関する技術資料を収集・整備する) 	
2018 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 本年度は、2WG での活動を中心とし、それぞれ実験的検討を行い、データの収集を行った。</p> <p>2. 当初計画より若干遅れたが、改定指針の目次および執筆担当を確定するとともに、本文・解説の執筆を開始した。</p> <p>3. 当初計画を、ほぼ達成できた。</p>
委員会活動の問題点・課題	